



## 「都図研・研究局から」

研究局長 栗本圭 (国分寺・国分寺第四小)

都図研研究局は各ブロックのブロック長から推薦されたメンバーを中心に東京都の様々な課題やアイデアを汲み上げながら研究を進めてまいります。年間の活動計画では9月の研究局公開授業と、12月8日(金)に行われる都図研大会で研究授業を行います。ぜひ、足をお運び頂き、図画工作について共に考えていければと思っております。

また、私たちは授業の中で、子供たちがものに働きかけたり反応を確かめたりして、身体全体の感覚を働かせ、ものと多様に関わり、そのもの自体を自分の心や感覚で捉える姿や、表したいものを表すためにもとのやりとりから自分なりの答えを模索する姿を日々目にしています。このようなものを扱う図画工作の特性を生かし、今年度の研究の方向性を子供たちがものと関わり「実感すること・自分で決めること・創造すること」とし、進めていきたいと考えています。それぞれの子供たちの発想や思考がいろいろな方向に広がり、活動が深まったり互いの生み出した価値を共有したりしながら活発な創造性が発揮されることを目指します。

研究局は、図画工作を通して創造性を育てていくことが子供の将来にどのような意味を持つのか考えていきます。

## 「新指導要領研修会について」 事務局長 柴田芳作 (狛江・狛江第一小)

東京都図画工作研究会では、平成29年6月20日(火)、7月31日(月)の2回、区部の新宿区立愛日小学校と市部の立川市立第一小学校を会場に、新学習指導要領についての講演及び研修会を開催致します。講師には、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の岡田京子氏をお招きします。

新学習指導要領では、前文で教育の目的や目標達成を目指す教育課程の意義や学習指導要領の果たす役割が示され、一新された総則では、育成すべき資質・能力や主体的・対話的で深い学び、カリキュラムマネジメント、各教科における見方・考え方を働かせた学習などの新しい課題について示されています。そして間もなく示される解説を読み、理解を深めることなど含め、実施に向けて今から私たちが準備しておくことはたくさんあります。はじめになすべきことは現行と比べて「どこが変わったか」だけではなく、「なぜ変わったか」に意識を向け、現場で考えを共有したり確認したりすることでしょう。新しい流れに右往左往せず、学びの向上につなげていけるような充実した研修会となることを願います。

## 都図研会員名簿2017版 進捗状況報告

事務局 庶務部長  
鶴見 智 (足立・島根小)



各地区の名簿担当委員ほか皆様のご協力により、今年度都図研会員名簿の作成は順調に進んでいます。先日行われた理事会にてお願いした名簿の確認・校正も順調に進み、現在細かい部分の確認を行っています。

1学期中の配布を目標に取り組んでいます。ご理解・ご協力よろしくお願いたします。

<都図研名簿に関するお問い合わせ先>  
足立区立島根小学校 鶴見 智  
TEL : 03-3884-0121 FAX : 03-3884-0122

～お知らせ～ 今年度、突撃!となりの図工室は、各地区(計8ブロック)の図工専科から取材を行います!取材して欲しい図工室がありましたら、紹介してください♪

## リレー連載A 突撃!となりの図工室 城南「世田谷区立経堂小学校の図工室」

学校でひとつの図工室。普段はなかなか見ることのない他校の図工室を訪れて、気になる所を突撃取材!

第2回目の訪問先は城南ブロックより黒澤償先生(世田谷・経堂小)の図工室です。入り口には毎月発行されている「図工通信」が掲示してあります。内容は各学年の図工の授業の様子や児童の姿、その題材で育てたい力、図工教諭の思いなどなど。今でも「うまい絵を描く」ことが目標だと思っている保護者も多いそうで、決してそれだけが大事ではないことなどを発信していきたいそうです。

図工室内には先生が描いたかわいいにゃんこさんたちがあちらこちらに貼ってあります。黒板の一匹が「自分で決める」と言っています。図工は、色を決める、素材を決めるなど、自分で決めることであふれています。そんな「自分で決める」ことを子ども自身が意識できるよう「色・形」「感じる」とともに「自分で決める」を貼っているそうです。



他には机に「お2」「か1」などひらがな順に番号がふってあり、毎回子どもたちはくじを引いて席を決めるそうです。普段つきあうことのないお友だち同士の作品を見合い、響き合える環境を自然とつくられていて素敵だと思いました。インタビューの間中ずっと照れながら「お恥ずかしい・・・」とおっしゃっていましたが、カッターを各机、各色で分けて返却できるようにしてあったり、子供の手ではなかなかしぼりきれないボンドをミニタッパーに小分けにして使いやすくしてあったりと、全て紹介しきれない工夫が随所になされていました。

取材担当者: 河本満美子(世田谷・山崎小)

## リレー連載B 局長&副理事長からのメッセージ【研修局長より】

～東京都図画工作研究会の各局・各部の長から運営内容についてお伝えします～



研修局では、東京都教職員研修センターの認定研修として、年間2回の研修を企画・運営しています。

この研修は、「こういう材料でこうしたら、こんな作品が出来ます。」という、How-To式の学びではありません。図画工作が子供の世界を広げるにはどうしたらいいのかを、題材をもとに参加者同士で考える研修です。

現在も限られた時間の中で研修局の総力を挙げて、先生方のニーズを探り、検討を重ねています。

今年の研修会Iは、『ねんど大解剖』と題して、6月29日(木)に行います。経験の浅い先生も、ベテランの先生も多くの方が集い、私たち自身で学びを深められる研修になれば幸いです。

事務局長: 岡部哲(中央・月島第一小)